

監事監査報告書

平成23年5月18日

学校法人阪南大学

理事会 御中

評議員会 御中

監事 櫻井 善信 印

監事 花岡 卓二 印

私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人阪南大学寄附行為第11条の規程に基づき、学校法人阪南大学の平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の業務及び財産の状況を監査した。

1. 監査の方法の概要

監事は理事会に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要な決済書類等を閲覧し、主要な部署において業務及び財産の状況を調査した。

また、内部監査担当者及び会計監査人(下竹会計事務所)と連携をとり、平成22年度の計算書類について説明を受け、計算書類、事業報告書に検討を加えた。

< 監事による理事の業務執行監査及び業務監査等の状況 >

平成22年	2月25日	理事会・評議員会に出席
平成22年	3月24日	理事会・評議員会に出席
平成22年	5月19日	会計監査人からの説明、業務監査
平成22年	5月25日	理事会・評議員会に出席
平成22年	11月2日	業務監査
平成22年	11月29日	監事研修会参加
平成23年	1月21日	業務監査(会計監査人からの説明)
平成23年	2月24日	理事会・評議員会に出席
平成23年	5月18日	監査(会計監査人からの説明、業務監査)

2. 監査の結果

- (1) 学校法人阪南大学の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められない。
- (2) 財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、学校法人阪南大学の財産の状況を適正に表示しているものと認める。
- (3) 事業報告書は、主要な事業が記載されており、各事業が適正に執行されているものと認める。

以 上